

教職員の欠員や不補充を速やかに解消する施策の実行および
教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める請願書

提出 令和5年8月21日

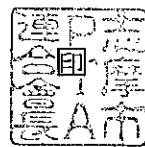
志摩市議会議長 金子 研世 様

紹介議員 小河 光昭

請願者

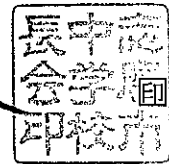
〒517-0603
志摩市大王町波切877-3
大王小学校 PTA
志摩市PTA連合会 会長

朝日 秀道



〒517-0505
志摩市阿児町甲賀2088-1
東海中学校 校長
志摩市中学校長会 会長

寺本 一夫



〒517-0505
志摩市阿児町甲賀1518
東海小学校 校長
志摩市小学校長会 会長

上村 寛



〒517-0501
志摩市阿児町鶴方3179
三重県教職員組合志摩支部
支部長

出口 晴之



請願の趣旨

子どもたちの「豊かな学び」の保障にむけ、教職員の欠員や不補充を速やかに解消する施策の実行および教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算の拡充をおこなうよう市議会において本請願を採択いただき、国の関係機関に意見書を提出いただくようお願い申し上げます。

請願の理由

教職員が心身ともにゆとりを持って子どもたちと向きあい、日々の教育活動を創り出していくことは、子どもたちの「豊かな学び」の保障につながる基盤となるものです。

2021年4月、国の学級編制の標準が40年ぶりに改善され、小学校35人学級が段階的に実現することとなりましたが、全国的に「教員不足」、「教職員の未配置」の問題が深刻化しています。

三重県においても、今年度県内公立学校において、本来配置されるべき教職員に年度当初から欠員が生じたり、産育休等の休暇・休業取得者の代替教職員が不補充あるいは、短時間勤務者での代替となったりしている状況が見られます。当然にも、満たされるべき定数の教職員が学校現場に配置されていない現状では、子どもたち一人ひとりの「豊かな学び」を保障することはできません。

すべての子どもたちが安全・安心に学べるようにするためにも、教職員の欠員や不補充を速やかに解消する施策の実行およびすべての校種における学級編制と教職員定数の標準を改善する新たな教職員定数改善計画の策定と実施が強く望まれます。

一方で、家庭の現実を目を向ければ、光熱費や物価高騰による保護者の負担増など、厳しい状況にあります。くわえて、学校でのICT化がすすむ中、今後1人1台端末を維持していくためには、機器の整備費や通信費等の保護者の負担が生じることが懸念されます。少子化がすすむ志摩市においても、子育て世代の私費負担が増加することは、さらに少子化をすすめる悪循環につながりかねません。公財政として措置される教育予算を拡充し、教育条件整備をすすめていくことが、山積する教育課題の解決へとつながり、そして、子どもたち一人ひとりの「豊かな学び」を保障することになると考えます。

以上のような理由から、教職員の欠員や不補充を速やかに解消する施策の実行および教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算の拡充を強く切望するものです。